

4 輸送障害に関する事項

4.1 輸送障害の発生状況

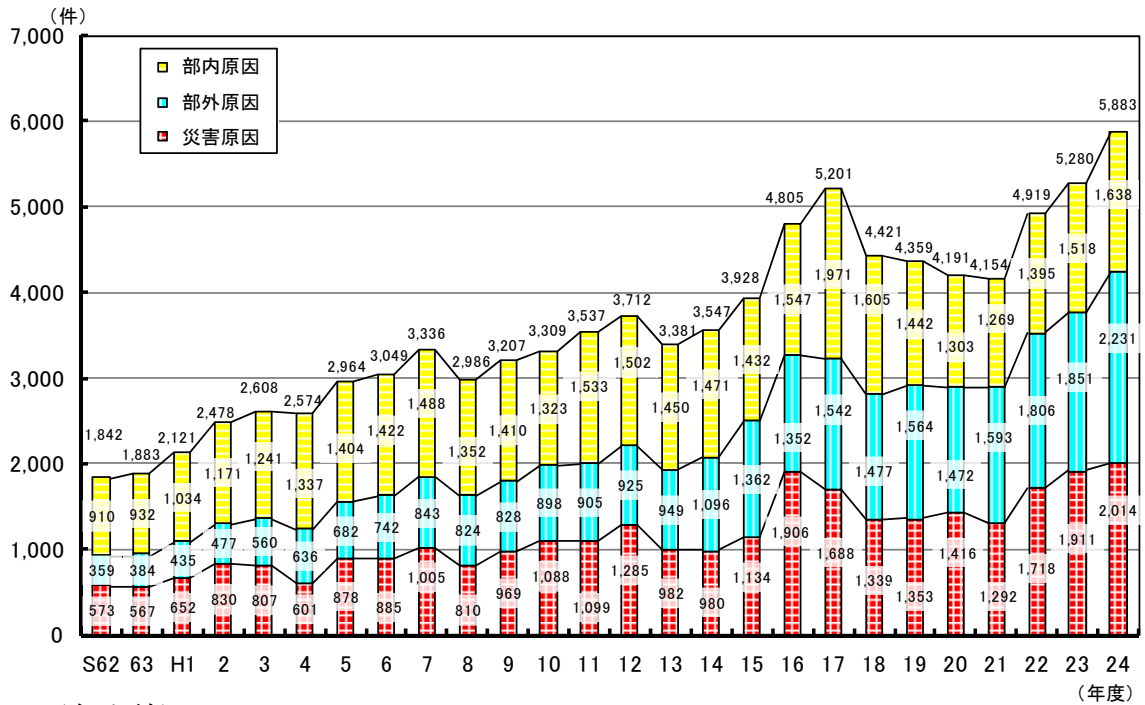
(1) 輸送障害件数の推移等

- 平成24年度に発生した輸送障害(列車の運休、旅客列車の30分以上の遅延等)¹⁴は、5,883件で対前年度603件(11.4%)増でした。
- 鉄道係員、車両又は鉄道施設に起因する輸送障害(部内原因)は、1,638件(27.8%)で対前年度120件(7.9%)増でした。このうち、鉄道係員に起因するものが263件で同7件(2.6%)減、車両に起因するものが917件で同36件(4.1%)増、施設に起因するものが458件で同91件(24.8%)増でした。
- 風水害、雪害や地震などの自然災害による輸送障害(自然災害)は、2,014件(34.2%)で対前年度103件(5.4%)増でした。なかでも、水害によるものが528件で同43件(7.5%)減、雪害によるものが304件で同57件(15.8%)減、風害が560件で同222件(65.7%)増、地震によるものが62件で同102件(62.2%)減でした。
- 線路内立入り等による輸送障害(部外原因)は、2,231件(37.9%)で対前年度380件(20.5%)増でした。このうち、自殺によるものは、631件で同30件(5.0%)増、動物によるものは514件で同202件(64.7%)増でした。
- なお、運転事故に伴う列車の運休、旅客列車の30分以上の遅延等があっても、運転事故との重複計上を避けるため、輸送障害として計上していません。

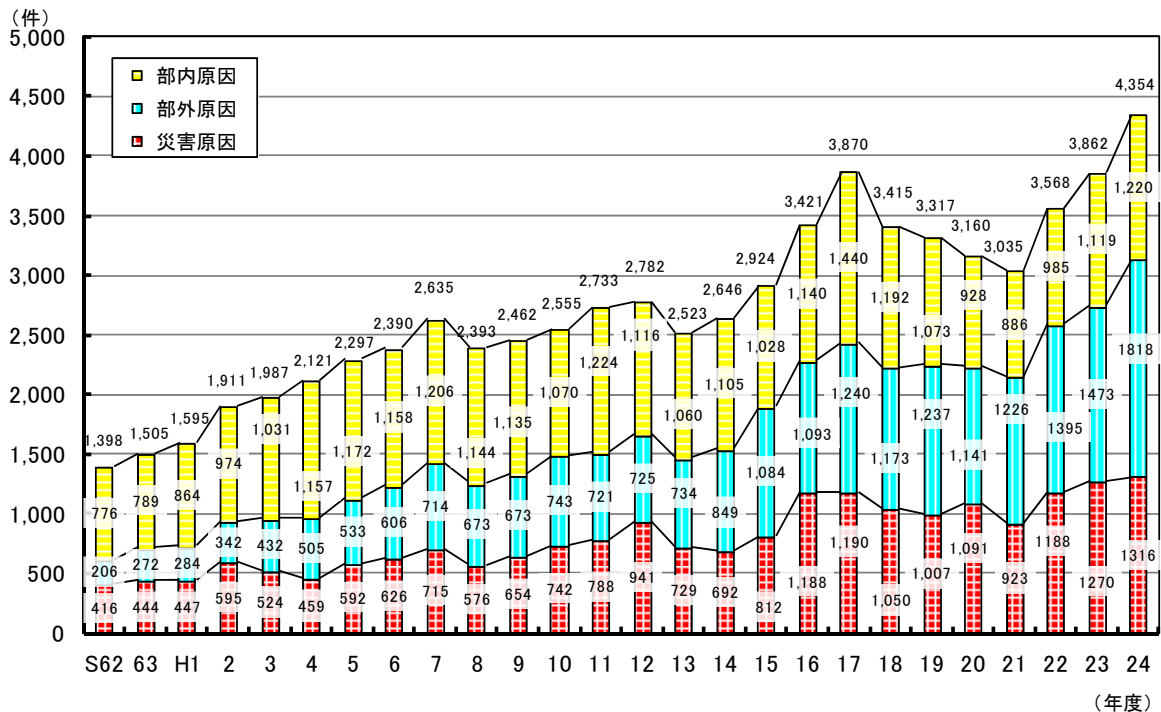
¹⁴ 鉄道事業法第19条に基づき鉄軌道事業者が国へ届け出ます。

図16: 輸送障害件数の推移

① JR(在来線+新幹線)と民鉄(鉄道+軌道)の合計



② JR(在来線)

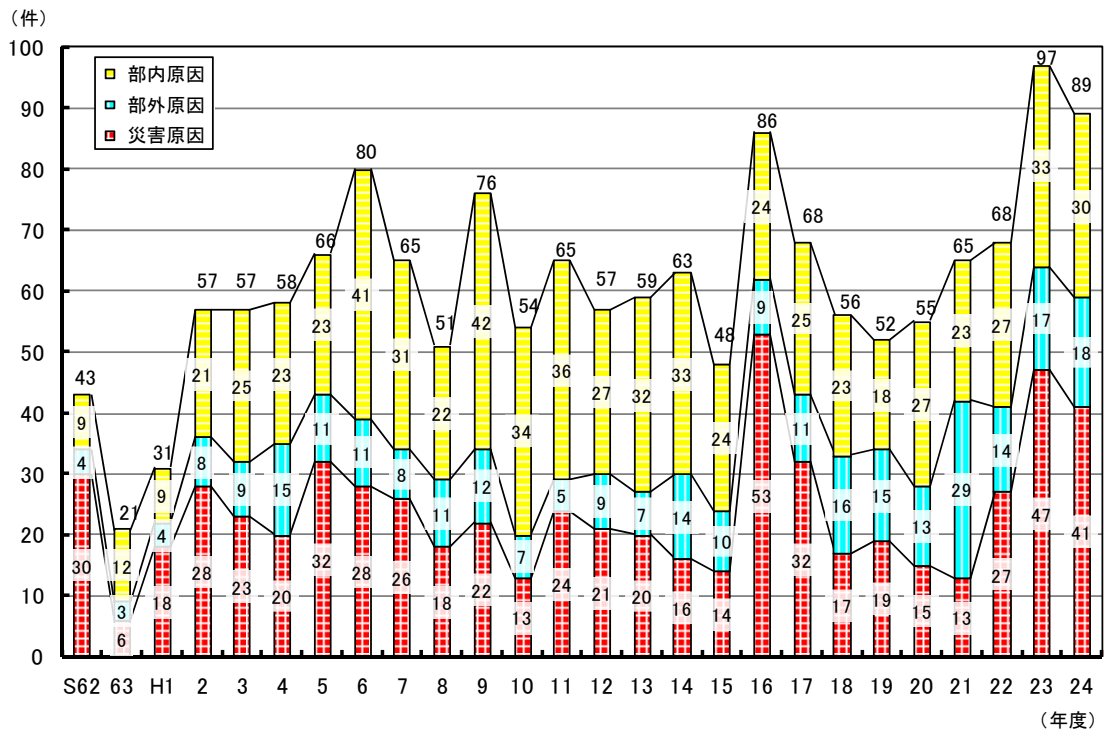


部内原因: 鉄道係員、車両又は鉄道施設に起因するもの

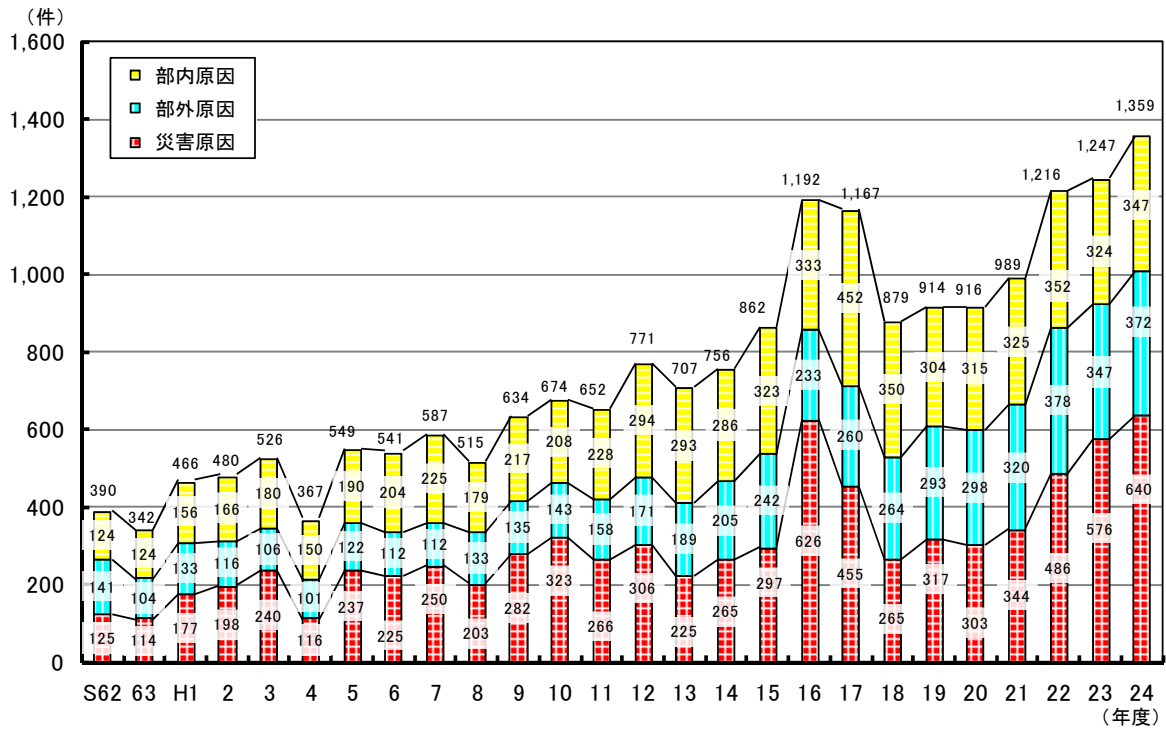
部外原因: 線路内立入り、動物との衝突等に起因するもの(部内原因及び自然災害以外のもの)

自然災害: 風水害、雪害、地震等の自然災害に起因するもの

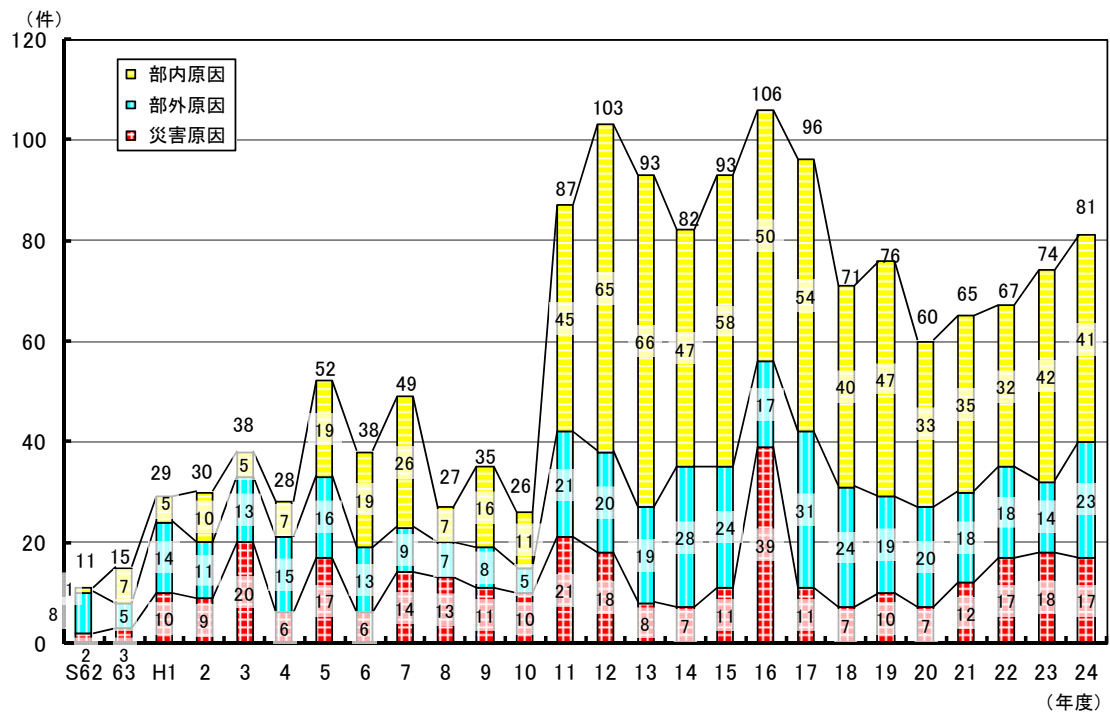
③ JR(新幹線)



④ 民鉄(鉄道)



⑤ 民鉄(軌道)



4. 2 事業者区分別の輸送障害件数

○平成24年度における事業者区分別の輸送障害件数は、表5のとおりです。

表5:事業者区分別の輸送障害件数(平成24年度)

(件)

事業者区分 原因	部内原因				部外原因	災害原因	合計
	鉄道係員	車両	鉄道施設	小計			
JR(在来線)	230	687	303	1,220	1,818	1,316	4,354
JR(新幹線)	2	23	5	30	18	41	89
民鉄等	28	177	142	347	372	641	1,360
大手民鉄	9	27	21	57	247	104	408
公営地下鉄等	3	9	14	26	31	14	71
新交通・モノレール	1	12	10	23	4	29	56
中小民鉄	15	129	97	241	90	494	825
路面電車	3	30	8	41	23	16	80
合計	263	917	458	1,638	2,231	2,014	5,883

※1 「大手民鉄」は、東京地下鉄(株)を除く15社です。

※2 「公営地下鉄等」は、東京地下鉄(株)を含みます。

※3 「中小民鉄」は、準大手鉄道事業者を含みます。